

「アッタス RX」シリーズの第3弾として
登場した「アッタス RX ピュアブルー」。
永井花奈が即実戦投入して復活優勝。
その勝利に貢献した特徴や性能は？

第3弾でついに中調子が登場！

最大の特徴はクセが いっさいないこと 今秋いちばんの万人向き！

中調子の名器「V2」より スピード感がある！

2024年からスタートした新「アッタス RX」シリーズ。第1弾が先調子の「サンライズレッド」、第2弾が元調子の「ウルトラブラック」。そして、今秋発売の第3弾が中調子の「ピュアブルー」。その特徴について鹿又は

「いい意味で特徴がないのは〝長所〟ととらえるべきで、モデル名のとおり、本当にピュアな中調子でクセがいっさいない。ただし、クセがないのは何もしないということではなく、プレーヤーのスイングに合わせた挙動で動いてくれるということ。どんなスイングにも、どんなヘッドにも合うシャフトです。はじめて打ったときから手に馴染んでくれる感じがする。永井花奈選手が使いはじめてすぐに結果が出たのも、クセがなくて馴染みやすいからだと思います」

弾道や飛距離は？

「クセはないけど飛距離性能は高い。気持ちよく振り抜けるので、一般的な中調子のシャフトよりもスピード感があります。歴代の『アッタスシリーズ』だと名器『V2』に近い印象ですが、もっと飛びますね」



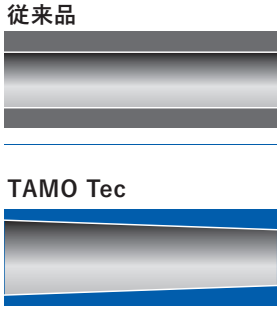
「HSが速い人も遅い人も、インパクトのタイミングが合わせやすいでしょう」

メーカー直撃取材で 最新モデルを深掘り！

Q 鹿又が「手に馴染む」と感じた理由は？

A **人体の構造に合わせた手元が太い設計を採用**

「今作は人間の手に合わせたTAMOテクノロジーをはじめて採用しました。従来のシャフトはパラレル設計が基本でしたが、今回は野球のバットのように手元に向かって徐々に太くなっています。手元が太いことでスイング中の支点が安定してヘッドスピードが上がる。永井花奈選手は手が小さい選手ですが、このシャフトは握りやすいといっていました」



USTマミヤ　アッタス RX ピュアブルー

SPEC●重量（フレックス）／4（R、SR、S、X）、5（R、SR、S、X）、6（S、X）、7（S、X）
●調子／中●トルク／4.7度（5・S）●価格／4万9500円

